

人間関係づくり実践モデル事業報告書

宇部市立原小学校

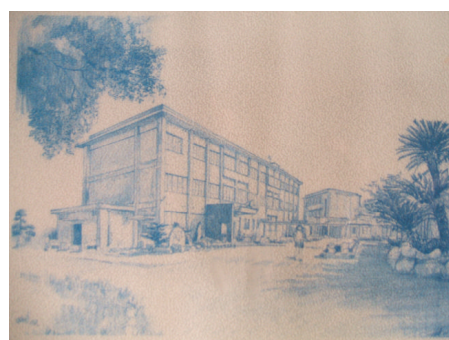
1 学校の概要

本校は、宇部市西端に位置し、山陽小野田市に隣接している。明治34年に厚南小学校の分校として発足したがその後児童の急増と地区民の熱烈な要望により、昭和18年独立校となって本位置に設立された。その後も地区の教育振興に対する熱意は、受け継がれ現在に至っている。

児童数は、一時宇部興産沖の沖の山炭鉱の興廃により大きな変動が見られたが、近年は宅地造成による人口の増加の反面、少子化傾向の影響も出始め減少傾向にある。

また、平成6年度には黒石小学校の新設に伴い、約100名移籍した。

平成18年度は、14学級、児童数392名、「最後までがんばる子ども」「すすんで学ぶ子ども」「夢がもてる子ども」の育成をめざして、原小教育をすすめている。



2 児童の実態と事業の必要性

本校の大多数の児童は、素直で明るく学校を楽しい所と感じ元気に過ごしている。しかし、ささいなことではけんかになったり、自己中心的な言動で友達を傷つけたりするトラブルの発生が増えてきている。

家庭の事情が複雑になり、地域でのつながりも希薄になってきている現状では、安心して過ごすことのできる居場所がなくなってきている子どもたちも見られるようになってきた。

そこで、本校では、不登校、いじめ等の学校不適應の未然防止としての県の事業「人間関係づくり実践モデル校」の指定を受けた平成16年度から、構成的グループエンカウターの手法を中心にして、「お互いを認め合い高め合う学級づくり」の研究をすすめてきた。

エンカウターを紹介した文献に「緊張感が少なく、あるがままの自分でいられる集団にいると心が癒され、生きる活力がわいてくる。そこで生活する子どもたちは、社会性や人間関係の持ち方、自己の確立、現実判断能力、道徳心などを自然に学ぶ。しかし、社会状況の変化により、子どもたちに豊かな学びを自然にもたらす集団がなくなりつつある。家庭や地域社会の教育力も低下し、集団生活の場としての学校・学級も、不登校、いじめ、暴力・・・など、さまざまな不適應状態があらわれてきている。」とあり、あらためて学級経営のあり方を見直していく必要を痛感した。

本校の研修では、学級という集団の中で、一人ひとりが自分の居場所を見つけ、相手を受け入れ、自己主張をしながら交流のある温かな人間関係を育むことで、子ども達の個性を伸ばし、生きる力を養うことができると、取り組みを進めてきた。

3 取組の紹介

〔1年次〕

(1) 具体的な取組内容

① 研究主題

お互いを認め合い高め合う学級づくりの研究
～構成的グループエンカウターの手法を中心にして～

② 研究の経過

- ・ 講師 森 洋介先生（鈴ヶ峯女子短期大学 保育学科 助教授）

平成16年度（三年次計画の第一次）講師を迎えての校内研修会

研修日	内 容
6月21日	宇部市黒石中学校と合同研修 「エンカウターとは何か」エクササイズの演習、指導講話 小中の共通理解
7月 5日	2年 授業研究〈ジャンケン列車、おさるさんゲーム〉学活 指導者 講師（森 洋介先生）
10月29日	2年 授業研究〈サッカージャンケン〉学活 指導者 2年担任
11月29日	1年 授業研究〈ふわふわことばとちくちくことば〉学活 指導者 1年担任
2月14日	一年次の反省と次年度の方向性について協議



③ 取組事例紹介

第2学年学級活動指導案

日 時 2004年(平成16年)10月29日(金) 5校時
場 所 原小学校 体育館

「サッカージャンケン」をしよう

1. ねらい

身体接触やジャンケン等の集団遊びを通して、友達との輪を広げたり、深めたりして、友達との温かい関係を作る。

2. これまでに体験したエクササイズ

- ・ 勝ち残りジャンケン・・・・・・・・・・・・・負けた人はのいていく
- ・ あいこジャンケン・・・・・・・・・・・・・あいこの人だけのこる
- ・ 進化ジャンケン・・・・・・・・・・・・・勝つたびに進化して姿勢が変わる
- ・ ジャンケン列車・・・・・・・・・・・・・ジャンケンで負けたら後ろに着く
- ・ アウチでよろしく・・・・・・・・・・・・・人差し指1本を触れ合っあいさつする
- ・ いろいろ握手・・・・・・・・・・・・・歩き回ってより多くの人といろいろな握手をする
- ・ フルーツバスケット・・・・・・・・・・・・・一重円になり好きな果物を言って動く
- ・ なんでもバスケット・・・・・・・・・・・・・鬼が言った言葉に当てはまる者が動く
- ・ 夏休み中の体験話・・・・・・・・・・・・・グループごとに夏休み中のことを語り合う

3. 準備

赤白帽子、筆記用具、探検ボード、ふりかえりシート、コーン、説明図、得点表、磁石、ゼッケン、ストップウォッチ

4. 展 開

場 面	学 習 活 動	留 意 点
ねらい	1. ねらいを知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> みんなともっと仲良くなるゲームをする。 </div>	・きょうのめあてをつかませる
ウォーミングアップ	2. ウォーミングアップのゲームをする ・ ジャンケンゲーム ・ アウチでよろしく	・ 立ちジャンケンをさせる (勝ち残り・あいこジャンケン) ・ 目と目を見て、恥ずかしがらずにさせる
軽いフィードバック	ウォーミングアップのフィードバックをする	
エクササイズについてのインストラクション	3. 初めてのゲーム「サッカードジャンケン」の説明を聞く ・ 赤白2チームで作戦を立てる	・ 説明図などを使ってわかりやすいようにする キーパー 1名 守り 3列
エクササイズ実施	4. 「サッカードジャンケン」をする ・ キーパーに勝ったら得点を入れる	・ 前半・後半5分ずつを実施する
シェアリングとまとめ	5. 新しいゲーム「サッカードジャンケン」についてふりかえる	・ 自由に感想を発表させる ・ ふりかえりシートに記入させる ・ 指導者からのフィードバックを行う

考察

- ウォーミングアップのエクササイズは、学校の中でかなり定着しているものばかりで、子どもたちは楽しく活動することができた。メインのサッカージャンケンにつながるエクササイズをウォーミングアップで仕組むことが効果的であり、ジャンケンを取り入れた「あいこジャンケン」や「勝ち残りジャンケン」などのエクササイズは適当であった。
- メインエクササイズの「サッカージャンケン」では、キーパーや守りなどの役割分担が必要になってくるが、ウォーミングアップのエクササイズの結果がその役割分担につながっていく展開も考えていきたい。
- 役割分担を相談する作戦タイムでは、サポートの必要なチームもあったが、それぞれのチームで子どもたちがお互いを認め合いチームで協力しようとする姿勢が見られた。
- 身体接触をする活動を多く取り入れたいという意図でルールの一つに「握手をしてからジャンケンをする」ということを加えたが、ジャンケンを楽しみながら、ゲームを盛り上げるスピード感、リズム感には欠ける面があり工夫が必要である。握手のかわりに「両手をタッチしてからジャンケンをする」という方法も考えられる。
- メインエクササイズのサッカージャンケンは、初めてのエクササイズであり、ルールも簡単であることから、子どもたちは大変楽しく取り組み、「たくさんの友だちとジャンケンをして、友だちがふえた気がした」という感想が多く見られた。
一列目の守りの子どもの中であまり相手が来なかったと残念がる反省もあったことから、守りの人数配分など学級の実態に応じてルールを考えていくことが必要である。
- エンカウンターでは、シェアリングの段階が重要かつ困難な場面であり、今後も研修をすすめていく上での大きな課題である。
今後の研修では、まずシェアリング方法と時間を確保して、エクササイズの展開を考えていきたい。また、リーダーである教師が、一個人として自己開示をして、モデルを示すこともシェアリングが円滑に実施できる要素の一つである。エクササイズのリーダーとしての研修を積んでいくことが大切である。

第1学年学級活動指導事例

1. 指導案

(1) 活動テーマ「みんなとなかよくなるゲームをしよう」

(2) 活動テーマについて

本学年の児童は、男子34名女子22名、計56名である。(1組男子17名、女子10名、2組男子17名女子12名。)入学時は、様々な幼稚園・保育園から集まっているためか、なかなか学校になじめない子や不安を抱えている子も見られたが、今ではほとんどの児童が学校を楽しい所と感じ元気に過ごしている。しかし、ささいなことでもけんかになったり、自己中心的な言動で友達を傷つけたりすることもある。なかよくしたいという思いはあるが、素直にあやまったり、自分の気持ちを言葉でうまく伝えたりすることが出来ないがゆえにトラブルが起こる場合が多い。またクラス間の人間関係については、運動会や合同体育、校外学習などを通して打ち解けてきているが、いわゆる「友達」と呼べる相手は同じクラスの児童が多い。

低学年ブロックでは、今年度「構成的グループエンカウンター(SGE)による人間関係づくり」をテーマとした研修を進めてきている。1年生では、入学当初は、まず教師との信頼関係を築くため「先生となかよく」のショートエクササイズである「あいこジャンケン」「握手でさよなら」等を取り入れた。音楽の時間には、「ぞうさんのさんぼ」の曲の「なかまをみつけてこんにちは」のところで握手をしたり、「さんぼ」の曲に合わせて歩きながら出会った人と手でタッチしたりして、クラスの友達と自然にふれあえるようにしてきた。6月の人権教育参観日では、「同じシール集まれ」「2つの部屋」「手つなぎ伝信ゲーム」などのエクササイズを取り入れた実践をした。だがこの時点では、「2つの部屋」のエクササイズはまだ難しかった。二学期になってから「2つの部屋」のエクササイズを行ったところ、自分の考えで動き、理由も発表できるようになった。

指導に当たっては、1年生の集中できる時間を考慮して、簡単なルールで短時間にできるエクササイズを組み合わせて行うようにしたい。

ウォーミングアップでは、今まで何度か行っているエクササイズ(「ジャンケンゲーム」「鏡よかがみ」など)を行い、活動への意欲をもたせたい。

次の「ふわふわことば・ちくちくことば」では、児童が日常生活の中で使う言葉に目を向けさせ、自分の言葉遣いを振り返らせたり、言葉が引き出す感情に気付かせたりしたい。

その後、メインエクササイズである「ありがとうジャンケン」を行い、互いに感謝の気持ちを言うことで、あらためて相手の良さに気付いたり、人から認められたりする体験をさせたい。そしてシェアリングの中で、お互いに良さを認め合うことの大切さに気づかせたい。尚、この「ありがとうジャンケン」は「ジャンケンおんぶ」からヒントを得て、身体能力差の大きい児童同士でも出来るようにアレンジしたものである。ここでは、学年の児童全体の交流の場なので、違うクラスの児童同士でもジャンケンをすることで、親しみを持ち、今後の人間関係を築いていくきっかけとしたい。

(3) これまでに体験したエクササイズ

あいこジャンケン	「ジャンケンホイホイ」に合わせて教師（相手）と同じものを出す
握手でさよなら	帰りに教師が一人ひとりと握手をする。
ウキッ	シェイムアタッキング。一人が「ウキッ。」と言ってポーズをとり次の人がまねをする。次々伝えていく。
曲「ぞうさんのさんぽ」	「なかまをみつけてこんにちは」の所で握手して自己紹介をする。
曲「さんぽ」	曲に合わせて歩きながら出会った人と手でタッチをする。
ジャンケン列車	ジャンケンで負けたら勝った人の後ろにつながる。
鏡よかがみ	鏡になったつもりで教師（相手）のまねをする。
同じシール集まれ	教師が5種類のシールのうちのどれかを児童全員の背中に貼り、児童は黙って同じシールのグループで集まる。
2つの部屋	教師の質問に対して「はい」「いいえ」のコーナーに分かれて理由を言う。または、2つの項目のどちらが好きか選んで理由を言う。例「給食が好き」「自分が好き」「夏と冬のどちらが好き？」
手つなぎ伝信ゲーム	輪になって手をつなぎ、ぎゅっと握り、伝えていく。
ありがとうジャンケン	二人組でじゃんけんをし、負けた方が、勝った方に「～してくれてありがとう。」という。

(4) 本時案

①本時のねらい

ありがとうジャンケンを通して、あたたかい言葉をすすんでつかう肯定的な人間関係を育てる。

②準備物 カード・音楽CD

③展 開

場 面	学 習 活 動	留 意 点
ねらい	1. ねらいを知る。 1年生のみんなとなかよくなるゲームをしよう。	○きょうのめあてをつかませる。
ウォーミングアップ	2. ウォーミングアップのゲーム をする。 ・ジャンケンゲーム ・鏡よかがみ	○「ジャンケンホイホイ」のかけ声に合わせて、ジャンケンをする。

<p>エクササイズ実施</p>	<p>3. 「ふわふわことば」と「ちくちくことば」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばか ・デブ ・ぶす ・ちび ・ありがとう ・どうしたの ・がんばってね ・いっしょにあそぼう <p>○出た言葉を声に出して言ってみて、どんな気持ちでしたか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふわふわことばは気持ちがいい。 ・ちくちくことばはいやな気持ちになる 	<p>○教師の動きに合わせて鏡になったつもりで体を動かす。</p> <p>○言われてうれしかったり、元気が出たりする「ふわふわことば」と言われると悲しくなったりイライラする「ちくちくことば」について出させる。</p> <p>○先に「ちくちくことば」について考えさせる。</p> <p>○生活の中で体験したことを思い出させる。</p> <p>○わき起こってくる自分の気持ちに注目させ、2つの言葉の違いに気づかせる。</p>
<p>メインエクササイズ実施</p> <p>シェアリングとまとめ</p>	<p>4. ありがとうジャンケンをする。 「友達になってくれてありがとう。」 「やさしくしてくれて、ありがとう。」</p> <p>5. ありがとうジャンケンをしてどんな気持ちになったかふりかえる。</p>	<p>○言われてうれしい「ありがとう」をジャンケンで負けた方が言う。</p> <p>○感想を発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことでありがとうと言われたか。 ・どんなことでありがとうと言ったか。 ・言われてどんな気持ちでしたか。 <p>○指導者からのフィードバックを行う</p>

②評価

- すすんでありがとうジャンケンをし、相手に「ありがとう。」とすることができたか。
- 「ありがとう。」と言われて、ふわふわことばのあたたかさを体験することができたか。

③参考文献

- ・エンカウンターで学級が変わるショートエクササイズ集 図書文化
- ・わたし出会い発見 大阪府同和教育研究協議会

(5) 授業後の考察

○ありがとうジャンケンをして仲良くしようという気持ちが見られた。

○「ふわふわことば・ちくちくことば」について考えた後で「ありがとうジャンケン」をすることにより、人と人の心をつなぐ「ありがとう」ということばの良さをより感じながら「ありがとうジャンケン」をすることができたように思う。

○「ふわふわことば・ちくちくことば」について考えるのに思った以上に時間がかかった。このことから、「ふわふわことば・ちくちくことば」について考える活動は、前段階として各クラスでやっておいた方がよかったのではないかと思う。1時間の授業の中にエクササイズを2つ入れたのは少し欲張りすぎたと思う。

○「ありがとうジャンケン」では、ジャンケンをして負けた方が勝った方に「〇〇してくれてありがとう。」などと言うようにしていたが、負けた方が言うことにより罰ゲームというような意識が働くので、教育的意図からは、勝った方が言うようにした方がいいのではないかという意見が出た。次回「ありがとうじゃんけん」をするときは、勝った方が「ありがとう」を言うルールでやりたいと思う。

○「ありがとうジャンケン」で負けた児童は「友達になってくれてありがとう。」、「けしゴムを貸してくれてありがとう。」「ジャンケンをしてくれてありがとう。」などの言葉を言っていたが、相手のことをよく知った上で表現する力もないと、なかなか相手に応じた言葉は言えない。今の段階では、みんなが相手に応じて表現することは期待していない。ありがとうジャンケンの回数を重ねて友達関係も深まると共に、相手に応じて「ありがとう」を言えるようになればいいという考えであるが、低学年の児童にとっては少し高度である。いきなり自由に相手のいいところを言うのではなく、段階を追ってジャンケンのルールを変えてもよかった。

(例) ☆勝った方が、「勝たせてくれてありがとう。」と言う。

☆勝った方が、書いてある「ふわふわことば」の中からひとつ選んで言う。

○「ふわふわことば・ちくちくことば」を学習した後、「〇〇さんが、ちくちくことばを言ってきました。」などと言ってくることもある。子どもたちにとって「ふわふわことば・ちくちくことば」はわかりやすく表現しやすいので、生活の中に定着しつつある。

○「ありがとうジャンケン」は、帰りの会や、ちょっとした時間でも取り入れることができ、和やかな気持ちになれるので、日頃の生活でも行うとよい。



(2) 1年次の成果と課題

1年次は校内研修の事情により、低学年ブロック（1・2年生）が生徒指導研修として、実践に取り組み、エクササイズや年間プログラムの開発をすすめた。

しかし、年間5回実施した講師を招聘しての研修会には全職員が参加できる体制を調整することができた。以下、成果と課題である。

〈成果〉

- 今年度、初めての取組で暗中模索であったが、講師の模範授業、エクササイズの演習、授業実践を通しての研究協議など適切な指導のもと、モデル校としての研究の方向が定まってきた。
- 構成的グループエンカウンターという言葉は初めて耳にした職員が多数を占めていたが、エンカウンターのエクササイズの中には、以前から学級づくりに活用していたゲーム等も見られ、取り組みやすい雰囲気になっていた。
- 「エンカウンターとは何か」という段階からのスタートであったが、エクササイズの演習を繰り返す中で、シェアリングの重要性に気づくことができた。
- 低学年のエクササイズはゲーム性が強く、何よりも子どもたちが喜んで参加しシェアリングでも、自分の思いを伝えることができるようになってきた。
- シェアリングで自己開示をした子どもたちを受けとめるためには、リーダーである教師の自己開示が必要であること、一人ひとりの子どもの発表や行動、表情などをしっかりと見ることが大切であることがわかってきた。教師の子どもたちへの関わり方が一番変容したのではないだろうか。

〈課題〉

- エンカウンターが活用できる教科、領域、また、児童の実際に合ったエクササイズの選択などは、日々の実践を積み重ねながらの思考錯誤が必要である。
- エンカウンターを効果的に活用するためには、リーダーとしての教師サイドの研修をもっと深めていかなければならない。
- 低学年では、ショートエクササイズを繰り返すことが効果的といわれているが、学校生活のどの場面で活用していくのか、年間のプログラムとして位置づけていくことがモデル校としての役割である。本校の児童の実態を把握し、プログラムを作成していくが、どの学校でも共通して実践できるという配慮も必要である。
- 指導案の形式や年間プログラムの形式についても、より実践しやすいものにするためにはどのように修正していけばよいか検討していかなければならない。
- 来年度は中学年を中心とした実践をすすめていくが、低学年も今年度の実践を追試、修正をしていくことになる。校内の研修体制についても考えていきたい。

〔2年次〕

(1) 具体的な取組内容

- ① 研究主題
 お互いを認め合い高め合う学級づくりの研究
 ～構成的グループエンカウンターの手法を中心にして～
- ② 研究の経過
 - ・ 講師 森 洋介先生（鈴ヶ峯女子短期大学 保育学科 助教授）

平成17年度（三年次計画の第二次）講師を迎えての校内研修会

研修日	内 容
6月 6日	3年 授業研究〈お友達のことをもっと知って仲良くなろう〉学活 指導者 講師（森 洋介先生）
8月 4日	エクササイズ演習 （中学年のエクササイズを中心に演習）
10月24日	3年 授業研究〈ほめあげ大会をしよう〉学活 指導者 3年担任
11月21日	4年 授業研究〈してもらったこと してあげたこと〉学活 指導者 4年担任
2月20日	二年次の反省と課題について協議 高学年エクササイズの演習



③ 取組事例紹介

第3学年 学級活動指導案

日 時 平成17年10月24日(月) 5校時
場 所 3年1組 教室

1 活動テーマ『ほめあげ大会をしよう』

2 指導の立場

○本学級の児童は男子19名、女子19名、合計38名である。4月当初は仲のよい友達と違うクラスになり寂しがっている児童もいたが、いろいろな行事やエクササイズなどを通して打ち解け、今では新しい友達も増えてきて、楽しい毎日を送っている。けんかをすることもあまりなく、相手の気持ちを傷つける言動が学級内で聞かれることは少なくなってきた。しかし、日頃話をしたり遊んだりする友達は限られていて、あまり話をしない友達のことは「よく知らない」というのが現状である。1学期の自己紹介ゲームの結果を見ても、折り合いの良い仲間同士がつながり易く、あまり話さない人のところには行かないという傾向が見られた。これからは友達の輪を広げ、日頃つきあいのない友達のこともよく知り、理解を深めていくことや、自分の良さを自覚し、もっと自分に自信を持つようになることが大切であると思われる。

○そこで、学級の友達みんなをよく知り、自分を肯定的に見られるようになるために、「ほめあげ大会」というエクササイズに取り組むことにした。相手の良いところを見つけることは、これまで席がえをする度に、「ありがとうカード」に隣の席の人のほめたいことを書くという経験をしている。「ほめあげ大会」では、生活班の3人または4人について、ほめたいことを見つけなければいけないため、中には何を書こうかと困惑する児童もいるかもしれない。しかし、このエクササイズを通して、学級の友達の知らなかった良い面を知り、見直すことができるのではないかと、また、友達にほめられることによって、自分の良い面も再認識でき、自己肯定感も高まるのではないかと期待している。これからの学級集団としてのまとまりをより高めていくためのステップとして、良い教材であると思われる。

○指導にあたっては、メインエクササイズの「ほめあげ大会」に入る前に、温かい雰囲気作りをするため、ウォーミングアップのゲームを取り入れたい。そして緊張がとれて楽しい雰囲気になったところで、エクササイズの準備に向かわせたい。

エクササイズのやり方を児童に理解させる場面では、教師同士がデモンストレーションをするなどの手立てをとりたい。最後の発表の場面では、全員発表をさせ、みんなの前で自分の良さを認めてもらった喜びをかみしめると共に、拍手を通して認め合う時間を共有させたい。このエクササイズをきっかけに、相手の良さを認め合える人間関係がより深まり、まとまりのある良い学級集団へと育ていくことを願っている。

3 これまでに体験したエクササイズ

- ジャンケンチャンピオン・・・・・・・・・・教師とジャンケンをして、勝ち残った人がチャンピオンとなる。
(リレーション作り、帰りの会
4月より継続)
- 握手でさよならジャンケン・・・・・・・・・・帰りに教師が一人一人と握手してジャンケンし、勝ったら帰る。負け残りの人は教師と肩もみをし合う。
(リレーション作り、
始業式・終業式の帰り
4月・7月・9月)
- 質問ジャンケン・・・・・・・・・・2人組でジャンケンし、勝った人は相手に1つ質問をする。
(リレーション作り、学活
5月)
- なんでもバスケット・・・・・・・・・・フルーツバスケットの要領でオニになった児童が言った言葉に当てはまる人が席を移動する。
(他者理解、学活・昼休み
5月より継続)
- 名前当てクイズ・・・・・・・・・・5つの項目に自分の特徴や好きなものなどを当たりにくいものから書いていき、みんなに名前を当ててもらおう。
(自己理解・他者理解、学活
6月)
- 自己紹介ゲーム・・・・・・・・・・「話そうカード」を使って、自分を紹介し合い互いの理解を深める。
(自己開示・他者理解、学活
◎6月、人権教育参観日に実施)
- ありがとうカード・・・・・・・・・・席替えをする前に、1ヶ月隣りにいた友達にお礼の手紙を渡す。
(他者理解・受容体験、学活
6月より継続)
- 肩もみエンカウンター・・・・・・・・・・2人組みでジャンケンをし、勝った方はいすに座る。負けた方は相手の肩をもみながら話しかける。
(自己開示・学活、6月)

4 本時案

(1) 本時のねらい

- 学級の間みんながお互いに認め合う体験を通して、自己肯定感を養う。

(2) 準備物、ほめることを書く用紙、振り返りカード

(3) 展開

学習活動・学習内容	教師の支援
①今日の目当てを聞きウォーミングアップのゲームをする。	○温かい雰囲気になり、活動への期待が高まるようなゲームを取り入れる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 学級の友だちともっと仲よくなるゲームをしよう </div>	
<p>【ウォーミングアップ・5分】</p> <p>②「ほめあげ大会」のやり方の説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活班の4～5人で行う事。 ・グループ内全員の良い所を見つけて紙に書く事。 ・ほめられて一番うれしかったことを発表する事。 <p>【インストラクション・5分】</p> <p>③「ほめあげ大会」を行い、学級のみんなの前で、ほめられて一番うれしかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの良さ（性格・行動・能力など） ・自分の良さ <p>【エクササイズ・30分】</p> <p>④今の気持ちを、ふり返りカードに記入する。</p> <p>【シェアリング・5分】</p>	<p>○教師同士のデモンストレーションにより、できるだけ相手の性格や行動・能力など、具体的な姿をほめるとよいことを知らせる。</p> <p>○グループ内の全員に対して、まず1つずつほめる点を見つければよいこと、時間があればもう一つ書いてもよいことを知らせる。</p> <p>○相手に気持ちを伝えるために、本当にほめたいことを見つけつけて書くよう助言する。</p> <p>○グループを回って、良い所を見つけにくい児童に、日頃の生活経験を具体的に思い出せるような声かけをする。</p> <p>○発表したいことが決まらない児童については、その子の良さに教師が共感することで、自分の良さを再認識できるようにする。</p> <p>○一人ひとりに自分の良さを発表する素晴らしさを味わわせる為に、場を設定する。</p> <p>○ふり返りカードの結果をみんなに投げかけ、ほめられてうれしい気持ちに共感させる。</p>

ほめあげ大会をふりかえって

10月 日

原小学校3年 組 名前 []

①今日のゲームは楽しかった

◎ _____ ○ _____ △ _____

②友達の良さを見つけることができた

◎ _____ ○ _____ △ _____

③自分の良いところがわかった

◎ _____ ○ _____ △ _____

そのほかに感じたことやわかったこと

.....
.....
.....
.....
.....

授業後の考察

<ウォーミングアップについて>

・学級で日ごろよくやっているジャンケンチャンピオンをウォーミングアップのゲームに取り入れた
が、気持ちを盛り上げるという意味ではこれで良かったと思う。ただ、次の活動を班でするというこ
ともあり、班で簡単にふれあえるような内容のゲームでも良かったのではないかと思う。

<ほめあげ大会について>

・ほめあげ大会のやり方を説明するとき、リーダーの自己開示が必要であると思い、教師自身がほめ
てもらい、喜ぶ場面を作ったことは良かったと思う。
・ほめあげ大会の用紙として「あなたのよいところは・・・」と印刷したものを使ったが、それに続
けて文章を作るのはやや難しかった。語尾まで書いておくか、又は全く書かないで自由に書けるよ
うにした方が良かったのではないかと思った。
・ほめあげ大会に入り、自分のほめられたことを発表するとき、きれいな色の輪をお立ち台の代わり
にしたが、ひな壇を作る等、その他にも色々な場の工夫が考えられたと思う。

<シェアリングについて>

・授業後、児童が書いたふり返りカードを見ると、楽しかったのか、◎を選んだ児童がとても多く、
△を選んだ児童は一人もいなかった。友だちのよい所を見つけることはもちろん、自分のよい所を見
つけてもらうことがうれしかったようである。自分では気が付かないよさを友だちに認めてもらうこ
とは、大きな喜びにつながるのである。このエクササイズをきっかけに自分に自信がもてる児童が増
えてくれることを期待している。また、こういう自己肯定感を得られるような活動を仕組んでいき
たい。
・「書けない」児童について、シェアリングのときに書けなかった残念な気持ちに共感することが大切
であるとわかったので、これからのエクササイズでは、シェアリングにひと工夫してみたいと思う。

<その後の学級の様子について>

・授業後もエクササイズの年間計画に沿って学習を進めているが、下校前によくしていたジャンケ
ンチャンピオンが、下校時間の関係でたまにしかできなくなった。しかし、月が変わり席替えの前
になると、「先生、ありがとうカードは？」と児童の方からお手紙用紙を要求するようになった。
学級の中がふんわりとした良い雰囲気になってきたのは人間関係づくりに取り組んできたおかげだ
とうれしく思っている。

第4学年 学級活動指導案

日 時 平成17年11月21日(月) 5校時

場 所 4年1組 教室

1. 活動テーマ 『してもらったこと してあげたこと』

2. 指導の立場

本学級の児童は、男子20名、女子16名、合計36名である。(ともだち学級児童1名・・・自閉傾向男児 本学級の友達と関わりながら活動することを楽しみにしている。本学級の児童も声をかけたり教えてあげたりしながら、共に活動しているが、休み時間は、お互い思い思いに過ごしていることが多い。) 4月当初は新しい学級に慣れず緊張した表情を見せる子どもたちもいたが、様々な行事・活動を通して友達との関わりも増え、今では、誘い合って遊んだり協力して仕事をしたりする姿が見られるようになってきた。しかし、その仲間は固定されていることが多く、いつもと違う仲間であると、遠慮して自分の思いを出せなかったり、お互いの考えがちがうと、すぐに言い争いになったりする。まだまだ友達との理解は深まらず、よりよい関係が築けていないというのが現状である。これからは友達との関わりの中で、お互いが助け合おうとする温かい気持ちが広がってよりよい仲間づくりができるという意識をもたせることが大切であると思われる。

そこで、『してもらったこと してあげたこと』というエクササイズに取り組むことにした。このエクササイズは、「友達からしてもらったこと」「友達にしてあげたこと」を思い出させ、友達にしてもらってうれしかったことを自分は友達にしてあげていたか、自分の行動をふり返らせるものである。子どもたちは友達にってもらったことで、うれしくなったり、元気を出したり、そのような経験は誰もがしているであろう。しかし、自分が友達にしてあげたことについて、ふり返ってみる機会はあまりないと思われる。友達にってもらったことや自分がしてあげたことをふり返り、その言動がもたらす相手の気持ちに気づくことが、よりよい人間関係を作っていくことにつながるのではないかと考える。

指導にあたっては、まずウォーミングアップとして仲間さがしのゲームに取り組みたい。自分の好みや希望により仲間をつくるのではなく、偶然決まった仲間をお互いに助け合って捜していくという内容である。この場面でもみんなの助け合いが大切であることに気づかせたい。エクササイズでは、友達の発表を聞きながら、自分の言動についてもふり返り、お互いに支え合って生活していることに気づくことができるような支援を工夫していきたい。特に配慮を要する児童については、あらかじめ助言の方法を考えたり、特別支援学級担任と連携を図ったりすることで、学習に取り組めるよう支援していきたい。

3. これまでに体験したエクササイズ

- 誕生日チェーン・・・・・・・・・・・・・・・・ 言葉を使わずに、1月1日から12月31日までの誕生日順に並び直す。
(自己開示 学活 4月)
- 聖徳太子ゲーム・・・・・・・・・・・・・・ 3～4人のグループで1つの単語の音を1人1音ずつ分担し、一斉に言う。
(信頼体験 学活 5月) 他のグループが言葉を当てる。
- サッカージャンケン・・・・・・・・・・・・ 学級を2つのチームに分け、ジャンケンをしなが
(他者理解 昼休み 5月) らが攻め進み、相手のキーパーに勝ったら1ポイント
- なんでもバスケット・・・・・・・・・・・・ フルーツバスケットの要領でオニになった児童が
(他者理解 学活 5月) 言った言葉に当てはまる人が席を移動する。
- アドジャン・・・・・・・・・・・・・・ 指で1～5までの数を示し、グループ全員で同じ
(リレーションづくり 数になるまで続ける。
朝の会・帰りの会・席がえ後 9月)
- 共同絵画・・・・・・・・・・・・・・ グループで言葉を使わずに協同で絵を描く。
(協力 学活 10月) 絵の中には必ず人と家と木と川を描くのを条件とする。
- 4つの窓・・・・・・・・・・・・・・ 4種類のもの(色・動物・季節など)の中から、
(他者理解 学活 10月) 自分のいちばん好きなもののコーナーに移動し、選んだわけを話し合う。
最後に好みが同じ人を見つける。
- グループしりとり・・・・・・・・・・・・・・ ふつうのしりとりをグループ単位で行う。みんな
(協調性 信頼 席がえ後 11月) で考え、声をそろえて言うことにする。

4. 本時案

(1) 本時のねらい

- お互いに助け合うすばらしさに気づく活動を通して、学級で支えあって生活していこうとする
自覚を高める。(自己理解)

(2) 準備物

「仲間さがし」用のシール

「してもらったこと」「してあげたこと」のプリント

(3) 展開

学習活動・学習内容	教師の支援
<p>① 今日のめあてを聞きウォーミングアップのゲームをする。</p>	<p>○グループ作りの際、困ったことやうれしく思ったことなどの感想を発表させる中で、互いに支え合うことでゲームに取り組めたことを確認する。</p>
<p>みんながお互いに助けあい、支え合うクラスにしていこう</p>	
<p>○仲間さがし ・助け合うことの大切さ 【ウォーミングアップ 10分】</p> <p>②「してもらったこと、してあげたこと」の説明を聞く。</p> <p>○友達からしてもらったこと ○自分がしてあげたことの見直し 【インストラクション 5分】</p> <p>③「してもらったこと、してあげたこと」をする。</p> <p>○クラスの友達からしてもらったことでうれしかったこと ・貸してもらった ・仲間に入れてもらった ・手伝ってもらった など ○自分がしてあげたこと 【エクササイズ 25分】</p> <p>④してあげたことについてふりかえる。</p> <p>○より良いクラス作りをしようという意識 【シェアリング 5分】</p>	<p>○友達からしてもらってうれしかったことを思い出しやすいように生活の中でどんな場面があるか確認する。 ・授業中・休み時間・掃除・給食・放課後・行事など</p> <p>○教師の体験を紹介することで、エクササイズの見通しを持たせるようにする。</p> <p>○どんな場面で、どんなことをしてもらったか書きやすいようにカードを工夫する。</p> <p>○特に記入が困難と予想される児童については、これまでのいろいろな行事の思い出を話すことでエクササイズに取り組みやすいようにする。</p> <p>○いろいろな人の発表を場面ごとに分類して板書し、友達の意見をとらえたり比較したりできるようにする。</p> <p>○板書を見ながら、自分もしてあげたことがあればカードにチェックさせることにより、自分も人が喜んでくれることをしたという意識を持たせる。</p> <p>○「してもらったこと」の数だけしてあげた人の数があることに気づかせ、お互いに支え合っているという意識をもたせる。</p> <p>○これまでに友達にしてあげてよかったこと、これからしたいことをカードに記入させ、発表させることにより、みんなで支え合う学級にしていこうという気持ちを持たせる。</p>

授業後の考察

- ウォーミングアップのエクササイズは、子ども達がこれまでに経験したことのあるものだし、子ども達の好きなエクササイズの一つなので、よい雰囲気の中でスムーズに進めることができた。
- メインのエクササイズにつなげるために、友達が教えてくれたから上手に仲間を探すことができたという感想を引きだしたかったが、問いかけが子どもにうまく伝わらず、なかなか引き出せなかった。
- してもらったことを思い出す場面では、一日の生活の中の場면을提示したことにより、より具体的な例を引き出すことができ、普段あまり発言しない子も発表する事ができた。
- 子ども達の発表した具体例を分類して板書したことにより、自分が友達にしてあげたことを振り返る際に、とても役立った。
- これまでのエクササイズでは、その時間のねらいを明確にしてから活動していたので、シェアリングの際の子ども達の感想には、そのねらいにそったものが多かった。今回は、ねらいを明らかにせず活動に入ったが、子ども達の感想には、自分のよさやクラスのよさ、これから自分がしていきたいことが書かれていたので、子ども達の成長の一片を伺うことができた。
- 今回の授業を通して、教師自身が気づいていなかった子どもの様子を把握することができよかった。

(2) 2年次の成果と課題

2年次は、全職員で校内研修として取り組むことができ、各学年でエンカウンターを実施することができた。中学年ブロック（3・4年生）の実践を中心に講師に指導を受け、エクササイズの実践の選択、年間プログラムの開発をすすめていったが、低学年ブロックは昨年の計画の検証をしながら年度当初より実践をすることができ、学級づくりに計画的にエンカウンターを活用することができた。

〈成果〉

- 各学級、学年、学校全体の雰囲気は温かく感じられるのは、地道ではあるが、エンカウンターの実践を継続している成果だと考えられる。
- 構成的グループエンカウンターに取り組むことで、教師の視点の変容が大きく、ほめること、認めることで子どもを伸ばしていこうとする思いが強くなってきた。
- 教師や友達との関わりを大切にエクササイズが多く、一人ひとりの子どもの様子を把握する場面が増え、児童の実態がより明らかになってきた。
- 中学年になると、エクササイズがゲーム性の強いものから、言葉や文章で自分の思いを伝えたり、友だちのことを知ったりするものへと変化してきた。エクササイズを通して、子ども同士の新しい発見をすることができた。
- 他者理解につながるエクササイズは、相手を理解する大切さや、自分を理解してもらい喜びを感じさせるのに効果があり、子どもたちの心の成長が見られた。
- 授業を受ける子どもたちもエンカウンターに慣れてきて、ウォーミングアップを少なくしてすぐにメインのエクササイズに取り組むことができるようになった。また、教師の方もポイントを絞った参観ができ研修の成果があがってきている。
- 授業の中にエンカウンターをどのように取り入れて学級づくりにつなげていけばよいのかということを中心に研修に取り組んできたが、あわせて授業づくりの研修になりよかった。

〈課題〉

- エクササイズには、比較的簡単に取り組めるようになり、子どもたちは楽しみにしているが、シェアリングを充実させるための工夫が必要である。例えば、シェアリングで自己開示の時間を保障するために60分間の授業を仕組むなど、高学年になるほど考えていかなければならない。自分の考えを伝えるためには、表現力も合わせてつけさせたい。
- エンカウンターを継続することで子どもの心がどう変容していくか、客観的に把握できる方法を研修していきたい。
- 道徳の授業でエンカウンターを取り入れることにも挑戦できるとよいと思う。
- 子どもの実態に合ったエクササイズを選択するためには、学級の様子や一人ひとりの子どもの様子をしっかりと捉えていかなければならない。その上で、活用しやすい年間計画の立案、検証をすすめることが大切であろう。

[3年次]

(1) 具体的な取組内容

① 研究主題

お互いを認め合い高め合う学級づくりの研究
～構成的グループエンカウンター的手法を中心にして～

② 研究の経過

- ・ 講師 森 洋介先生（鈴ヶ峯女子短期大学 保育学科 助教授）

平成18年度（三年次計画の第三次）講師を迎えての校内研修会

研修日	内 容
8月 4日	エクササイズ演習 (高学年のエクササイズを中心に 三年次の研修について受指導)
10月 4日	5年 授業研究〈相手の立場に立つて〉道徳 指導者 5年担任
12月 6日	6年 授業研究〈その気持ちわかるよ〉学活 指導者 講師（森 洋介先生） 研修のまとめ、年間計画について



③ 取組事例紹介

第5学年 道徳指導案

日 時 平成18年10月4日(水) 5校時(60分)

場 所 5年1組 教室

1. 主題名 相手の立場に立って (2-② 思いやり・親切)

2. 指導の立場

本学級の児童は、困っている下級生に進んで声をかけたり、具合の悪い友達の世話を進んでしたりするなど、やさしい心を持ち、よりよい自分でありたいという気持ちをもっている。また、道徳の資料をもとに、正しいことは何かを理解することもできる。しかし、活動に夢中になったり、勝負が絡んだりという状況になると、短絡的にものごとを判断したり、感情のままに振る舞ったりする場面が多く見られる。実際に相手を不用意に傷つけてしまうこともあった。傷つける側と傷つけられる側の両方を経験していても、傷つけられる側の気持ちに立って行動するということがなかなか身に付かない傾向が見られる。資料で学んだことを自分の生活に置き換え、実践する力はまだ不十分だといえる。

構成的グループエンカウンターについては、3年生の頃から経験を積み重ねており、エクササイズも多く経験している。初めてのこと、新しいことに強い興味をもつため、エクササイズには積極的に取り組むことができる。しかし、シェアリングにおいては「うれしかった」「悲しかった」といった気持ちは表現できるが、なぜそう思ったのか、そこからどんなことを考えたのかというところまでは、詳しく表現できない児童が多いのが現状である。

あいだみつをさんの「セトモノ」という詩は、短編のわかりやすい内容で「やわらかい心」と「セトモノ(の心)」を対比させて表現することで、思いやりの大切さを感じやすい構成になっている。また、詩の終わりの部分では、思いやりの心を持続させることの難しさにも触れている。この難しさに目を向けることで、努力し続けようとするこれからの自分をイメージすることができる。『フープ・アップダウン』というエクササイズは、数人のグループで行い、片方の手の指でフラフープを支え、上下に移動させるという、楽しんで実施できるエクササイズである。ゲーム的要素が強く、簡単に組みめるとともに、子どもが活動時の困難さを感じたり、その時の思いを素直に表現できたりし、詩の学習で感じたことと結びつけやすいエクササイズといえる。このエクササイズと詩を組み合わせて学習することにより、短い詩で表現された思いやりの心について、体験を通して、より具体的にイメージでき、理解を深めることができると考える。

指導にあたっては、エクササイズのルールに変化をもたせ、児童の本音の部分を引き出したい。うまくいかない苛立ちを自分がどのように表現しているか、また、どのような言動が互いのやる気や安心感を生んでいるのかをシェアリングを通して気付かせていきたい。気持ちをうまく表現できない児童には、具体例を挙げるなどして、少しでも心の内を表せるよう、個別に支援するようにする。そして、エクササイズの具体的な活動場面を詩の内容に対応させることにより、相手の身になって考え、行動するとはどういうことかを理解させたい。その上で、再度エクササイズを行い、自分自身の変化を感じさせるとともに、実践することの難しさにも気付かせ、努力していこうとする

意欲をもたせたい。このように、道徳の学習にグループエンカウターの活動を取り入れることにより、より自分を見つめさせ、道徳的価値の自覚を高めていきたい。

3. 本時案

(1) 本時のねらい

自分の言動を振り返り、相手の立場や気持ちを考え、温かい心で人と接していこうとする気持ちを持たせる。

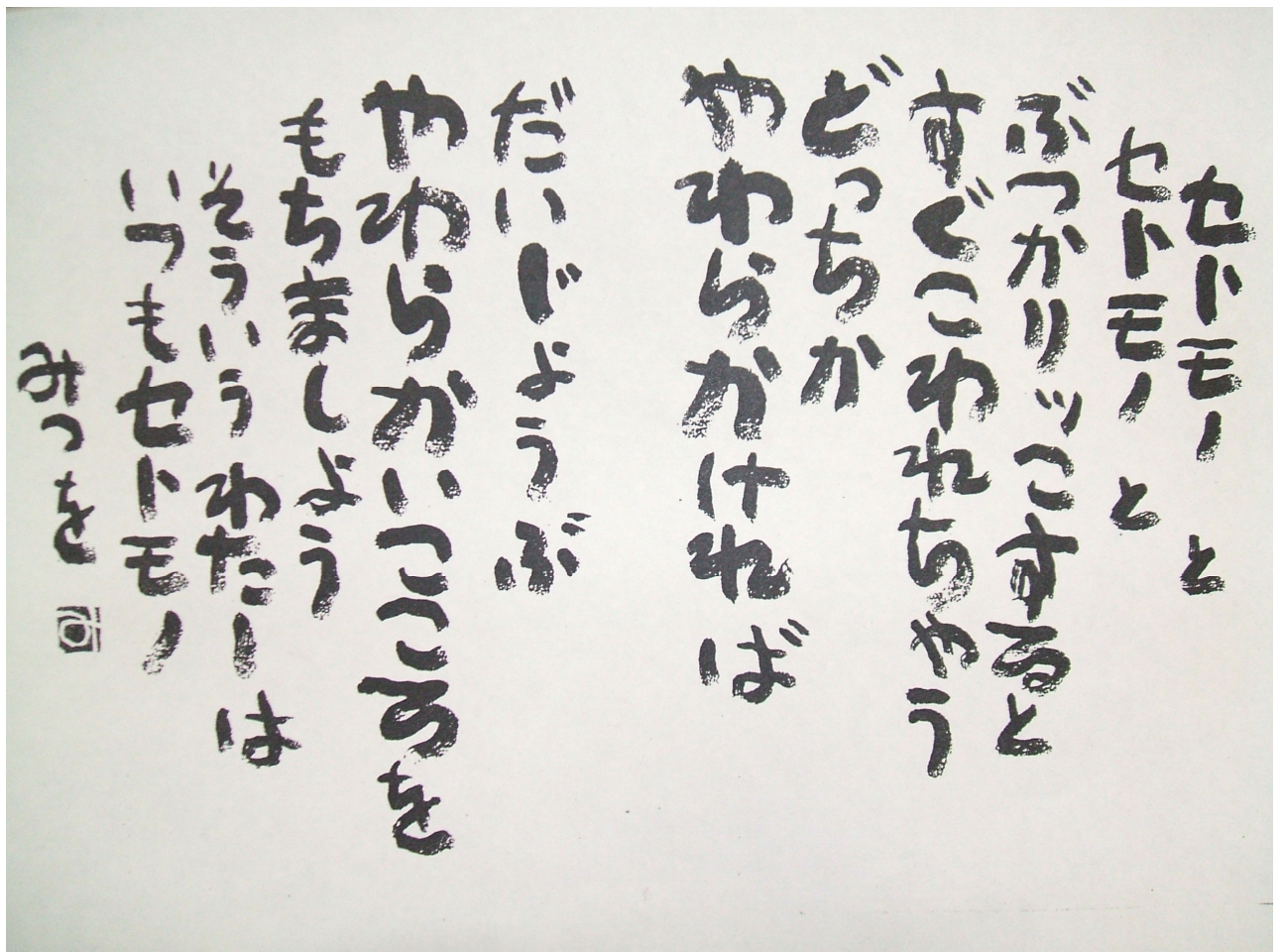
(2) 準備物

フラフープ (5つ)

掲示資料 詩「セトモノ」(あいだみつを)

プリント

瀬戸物



(3) 展開

学習活動・学習内容	教師の支援
<p>1 詩「セトモノ」を読み、感想を発表する。 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やわらかいところ <ul style="list-style-type: none"> ・人にやさしくする ・励ましてあげる など ○セトモノ (の心) <ul style="list-style-type: none"> ・人に冷たくする ・自分勝手な心 ・悪口を言う など ○生活の中での“やわらかい心” <ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場に立つ ・失敗しても責めない ・相手に合わせる など <p>2 フープ・アップダウンをし、感想を発表し合う。(エクササイズ・シェアリング) (20分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ セトモノの実物を提示し、固い、壊れやすいという意識を持たせ、それと対比されている“やわらかい心”とはどういうものか、これまでの生活経験の中から表現させる。 ○ “やわらかい心”に関して生活の中の場面を取り上げるなどして、友達と力を合わせる場面では、どんなことに気をつけるかを考えさせる。
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>〈ルール〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバー全員が人差し指をフラフープの下にそえて、上げたり下げたりする。(本時では下げる活動をする) ・フラフープは平らにしたまま動かす。 ・ななめになったり、指がひとりでも離れたりしたら、やり直しをする。 </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ○エクササイズに対する困難さ <ul style="list-style-type: none"> ・フープ傾いてしまうな ・フープが上がる感じがするぞ など ○友達への不満 <ul style="list-style-type: none"> ・一人だけ早すぎる人がいるぞ ・みんなが協力してくれない など ○予想と実施結果のずれ <ul style="list-style-type: none"> ・簡単そうに見えたけど、うまくできないな ・先生達はどうしてうまくできたのかな ○自分のとった言動 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに合わそうと努力したよ ・いろいろ言う人がいて、だれに合わせていいかわからなかったよ ○友達のとった言動 <ul style="list-style-type: none"> ・「せーの」と声をかけた人がいた ・失敗を責めた人がいたよ ○人と自分の言動の違い 	<ul style="list-style-type: none"> ○上記のルールで実施させ、どの子も活動に容易に取り組めるようにする。 ○ 教師がフープを下げる活動を成功させて見せ、簡単にできそうだという思いをもたせる。 ○ 時間制限をしてプレッシャーをかけ、本音の言動を引き出すようにする。 ○ エクササイズをしたグループで感想を述べ合うことにより、全員が自分の気持ちを表現する場を保障し、より率直に自分の気持ちが表現できるようにする。 ○グループごとに話し合いの内容を発表させ、構造的に板書することで、さまざまな感じ方、とらえ方が

<ul style="list-style-type: none"> ・声をかけた人がいたのか ・自分が思いつかないことを人はやっているなあ <p>3 エクササイズやシェアリングを通して、やわらかい心とセトモノ（の心）について感じたことをプリントに記入し、発表する。（20分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やわらかい心 <ul style="list-style-type: none"> ・「がんばろう」と言った ・失敗した人を責めなかった ・周りの人に合わせようと努力した ・「せーの」と声をかけた など ○セトモノ（の心） <ul style="list-style-type: none"> ・自分勝手なペースでやった ・文句を言った ・合わそうという気持ちがなかった ・遅かった人を責めた など ○2つの心に対する思いと現実のずれや迷い <ul style="list-style-type: none"> ・みんなのためと思って言ったことが、みんなにはいやなことだったのかな ・励ましたつもりの言葉でも相手は責められたと感じることもあるのかな ・自分の言動はどうだったのかな ○“やわらかい心”を意識し、実践し続けることの難しさ <ul style="list-style-type: none"> ・やわらかい心って難しいな ・自分はやさしさと思っていても、受けとる相手の気持ちはちがう時もあるんだな ・いつも気をつけていないと人にやさしくできないんだな ・これから少しでも気をつけたいな <p>4 もう一度、フープ・アップダウンをして、感想を書く。（エクササイズ・シェアリング）（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本当のやさしさ・思いやり <ul style="list-style-type: none"> ・やさしさ、思いやりって考えていたより難しいな 	<p>あることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ “やわらかい心”に関する言動をたくさん出させて板書することにより、“セトモノ（の心）”と対比しやすいようにする。 ○ 自分の言動を思い出し、書き出すことに困難さが予想されるT児には、どんな気持ちでエクササイズをしたか、自分はどう思ったかななどを個別に聞き、活動に取り組めるようにする。 ○ ひとりよがりやささしい心をとらえるだろうと予想されるH児の記述に着目し、意図的にわけを発表させることで、グループの他の子どもとのずれを生じさせ、自己を見つめる手がかりとしたい。 ○ 詩の最後の2行に着目させ、努力し続けることの大切さを感じ取らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 互いのことを考えて取り組めるように、グループで相談する時間を保障する。 ○ シェアリングを通して、自分や友達の変化に気づかせ、“やわらかい心”を意識できたことへの満足感や集団としての達成感を味わわせる。
--	--

<p>○イメージ通りにいかない現実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分は思いやりがあると思っていたけど、違っていたのかもしれないな ・気を付けようとしたのに、思わず文句を言ってしまったな <p>○変化した自分や友達の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっきよりは、相手のことを考えて協力できたかな ・××さんは、みんなの様子をよく見て声をかけていたからすごいな 	<p>○ 授業についての感想を書かせ、子どもたちの意識の変化を見取るための手立てとする。</p>
--	--

《授業後の考察》

○エンカウンター的活動を取り入れることにより、資料だけを使った学習よりも実感の伴った学習になった。

○エクササイズ中の自分や友達の言動を振り返るということは、多少無理があったような気がする。別の時間にエクササイズだけを行い、ビデオで振り返るなど客観的に自分の言動を振り返る方法も考えられる。

○言葉、行動、視線、表情などさまざまな要素が、人に影響を与えるということを感じられた。

○「セトモノ（の心）」がいけなくて「やわらかいところ」が良い”ではなくて、自分の中に両方の心があることを理解することができた。状況に応じて、変化する自分の心とどう付き合い、より良い人間関係に生かしていくか考えることができた。

～子どもたちの感想より～

・ぼくは、セトモノでした。でも、これからやわらかい心になりたいと思います。この授業でそのなり方が分かりました。

・これからはセトモノの心じゃなくて、なるべくやわらかい心が増えるようにがんばりたいと思いました。フラフープのときにアドバイスのつもりが、少し文句を言った気がしたので、気を付けようと思いました。

・今日勉強した詩は、私の心に似ているなと思いました。それは、やさしい心もあるけど、少しいじわるな心もあるからです。

・最初はセトモノの心が大きかったけど、フラフープや言葉で学んで、友達との仲も深まったし、最初のセトモノが少しなくなった気がします。

第6学年 道徳指導案

日 時 平成18年12月5日(火) 1校時(60分)
場 所 6年1組教室

1 主題名 私の感じ方、友だちの感じ方(2-②思いやり、親切)

2 本時案

(1) 本時のねらい

- いじめに対する認識の違いを知り、相手の気持ちになって考えて行動しようとする気持ちを持つことができる。
- 仲間を見つけるまでの不安や見つかったときの喜びを感じることによって、仲間の大切さを感じ取ることができる。

(2) 準備物

ワークシート グループ集計用紙 新聞記事

(3) 展開

学習活動・学習内容	教師の支援
<p>1 「いじめのニュース」について話し合う。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュース、新聞で知ったこと ・家の人や友達から聞いたこと 	<p>○いじめに関する新聞の切り抜きを用意し、日頃のニュースに関心のない児童が少しでも興味をもつように配慮する。</p>
<p>2 ワークシートを読んで、自分の考えを書き、話し合う。(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめに対する自分の考え ・グループの友達といじめに対する感覚が違うこと ・グループごとの発表 ・各グループの発表を聞いて思ったこと 	<p>○友達を気にせず、自分の判断で記入させる</p> <p>○机間指導をして、書けない児童には、いじめを自分の立場で考えるように助言する。</p> <p>○それぞれの考えを否定せず、最後まで聞くように投げかける。</p> <p>○お互いの考えが理解できるように、グループへの質問を自由にさせる。</p> <p>○いじめの行為は、考え方や受け取り方が人によって様々であることに気付かせる。</p>
<p>3 話し合いを通して、もう一度自分の考えを振り返る。(5分)</p>	<p>○友達の意見を聞いて、自分の考えの変わったところは赤で新しい数値を記入させる。</p>
<p>4 今の気持ちを振り返りカードに記入する。(10分)</p>	<p>○最後の感想は発表させず、それぞれの思いを書くことで自分の中に確認させる。</p>

エクササイズ「あなたはだーれ？ わたしはだーれ？」

- 1 主題名「仲間がいるっていいね」
- 2 エクササイズ「あなたはだーれ？ わたしはだーれ？」
- 3 ねらい
 - 仲間を見つけるまでの不安や見つかったときの喜びを感じ取ることによって、仲間がいることの幸せを実感する。
 - 非言語活動での協力を通して、友達とのつながりを深める。
- 4 準備物
 - 絵カード 洗濯ばさみ 振り返りカード
- 5 展開

学習活動・学習内容	教師の支援
1 仲間づくりゲームをする。	○簡単な笛吹き人数ゲームをして、雰囲気作りをする。
2 「あなたはだーれ？ わたしはだーれ？」のエクササイズをする。 ・仲間見つけ（2回実施）	○誰とでもグループを作れるように助言する。 ○非言語活動なのでジェスチャーを使って教え合うように助言する。 ○仲間が見つからない子は全員で教える。
3 ゲームの感想を書き、発表し合う。	○書けない児童には、探しているときと見つかったときとに分けて書くとよいことを助言する。

3 考察

- 「いじめってなあに？」というワークシートを読んで自分の考えを書き、話し合う場面では、いじめられた経験を持つ児童が積極的に自分の経験を話していた。4, 5人のグループでの話し合いをまずさせたので、心の中を打ち明けやすかったのではないかと考える。人によりいじめに対する感覚が違うことに気づかせようとしたのだが、グループ内で討論するなど話し合いが深まっていたのはよかったと思う。
- クラス全体にグループの意見を知らせるとき、発表ボードを使い、一目で他のグループの考えを知ることができ、効果的だったと思う。
- 全体の話し合いの後、自分の考えを振り返らせたが、多くの児童が赤で修正していた。友達のつらかった経験などを聞き、いじめは軽く考えてはいけないと、皆点数が増えていた。これを機会に、人の立場に立っていじめを考える力を身につけてほしいと思った。
- いじめの話し合いに続いて行った「あなたはだーれ？ わたしはだーれ？」のエクササイズでは、背中につけた絵で口を開かずに仲間を見つけさせた。みんなきちんとルールを守り、相手が見つからない友達を気遣うなど、思いやりが見られたのはうれしいことだった。

4 3年間を通しての取組の成果と課題（まとめ）

「人間関係づくり実践プロジェクト」として事業が拡大された本年度、基本的には実践モデル校としての内容はそのまま継続という形で3年次としてのまとめを迎えた。

しかし、諸事情により講師派遣は年間3回となり、他の面でも前年度までと条件が異なり、やや不安を抱えてのスタートとなった。が、事業の拡大は人間関係づくりの研究の成果が期待されていることでもあるので、全校で楽しみながらさらなる研修の推進をめざして取り組むことができた。

〈成果〉

- 講師が「エンカウンターは漢方薬のようなもので、即効性はあまり期待できないが、やがてじわあーと効いてきますよ。」と話されたことが強く心に残っており、無理をせず、気楽にみんなが取り組めるエクササイズを開発し積み重ねてきたことで、学校全体の雰囲気は温かく落ち着いてきている。
- 一人ひとりの子どもたちが、学級で安心して過ごせる場が多いためか、明るく元気に、本音を出して生き生きと活動する子どもたちが増えてきている。
- 教師が人間関係づくりを意識し、ショートエクササイズを日頃からたくさん活用することで、子ども同士、親と子、教師と子どもなど、様々な関わりが深まったと思う。
- 3年間を通して取り組んだことにより、子どもたちがエンカウンターエクササイズに慣れ、楽しみにするようになったし、教師もリーダーとしての役割が円滑に果たせるようになってきている。
- 学校全体で一人ひとりの子どもたちを見守っていく体制が自然にできており、生徒指導上のトラブルも早期発見、解決の方向になっている。これは、職員間の人間関係づくりがきちんと出来ているからではないだろうか。
- 学活や道徳の授業だけではなく、他の教科の中でのエンカウンター的要素を取り入れて授業を仕組んでいくことが楽しみになってきている。
- 子どもたちに自分の気持ちを表現させる場が増え、話したり書いたりすることで相手に思いを伝えたいという表現力の向上につながり、また、相手のことを知りたいという思いで聞く力もついてきている。自己開示や他者理解と学力は相関関係があるといえよう。
- 最後に、専門家に指導を受けながら、しかも年次的に無理なく研究をすることができたことを感謝したい。

〈課題〉

- 実践モデル校としての一応の成果を報告することはできたが、まだまだエンカウンターを駆使しての学級づくりという段階にまでは至っていない。今後も、エクササイズの開発や、児童の実態に合わせた活用しやすい年間プログラムへの修正など研究を続けていきたい。
- とくに教科の学習の中で取り入れられるエクササイズを開発することで、人間関係づくりをしながら教科のねらいも到達できる授業が仕組めないだろうか。

5 参考文献

- ※ 國分康孝編「構成的グループエンカウンター」(誠信書房)
- ※ 國分康孝編「続構成的グループエンカウンター」(誠信書房)
- ※ 國分康孝監修、國分久子・林 伸一他編「エンカウンターで学級が変わるショートエクササイズ集」(図書文化社)
- ※ 國分康孝監修、國分久子・林 伸一他編「エンカウンターで学級が変わるショートエクササイズ集パート2」(図書文化社)
- ※ 國分康孝監修、岡田 弘編「エンカウンターで学級が変わる小学校編」(図書文化社)
- ※ 國分康孝監修、岡田 弘編「エンカウンターで学級が変わるPart 2 小学校編」(図書文化社)
- ※ 八卷寛治著「小学校学級づくり構成的グループエンカウンターエクササイズ50選」(明治図書)
- ※ 國分康孝ほか共著「エンカウンタースキルアップ ホンネで語る「リーダーブック」」(図書文化社)
- ※ 國分康孝ほか共著「エンカウンターとは何か 教師が学校で生かすために」(図書文化社)
- ※ 「小一教育技術」平成16年度4～3月号 エンカウンターミニエクササイズ (小学館)
- ※ 「小二教育技術」平成16年度4～3月号 エンカウンターミニエクササイズ (小学館)
- ※ 八卷寛治ほか編集「[実践] 構成的グループエンカウンター」第1号～第6号 (明治図書)
- ※ 諸富祥彦編著「エンカウンターで道徳〈小学校低学年〉」(明治図書)
- ※ 諸富祥彦編著「エンカウンターで道徳〈小学校中学年〉」(明治図書)
- ※ 諸富祥彦編著「エンカウンターで道徳〈小学校高学年〉」(明治図書)
- ※ 國分康孝総編著 構成的グループエンカウンター事典 (図書文化)
- ※ 「小二教育技術」平成17年度4～3月号 (小学館)
- ※ 國分康孝監修「エンカウンターで総合が変わる」(図書文化)
- ※ 國分康孝監修「エンカウンターで学校を創る」(図書文化)
- ※ 諸富祥彦ほか編著「エンカウンターで学級づくり スタートダッシュ！」 (図書文化)
- ※ 石井 光編著「子どもが優しくなる秘けつー3つの質問(内観)で心を育むー」(教育出版)
- ※ 八卷寛治・平野修編著「エンカウンターで学級づくり12ヶ月小学校低学年」(明治図書)
- ※ 八卷寛治・平野修編著「エンカウンターで学級づくり12ヶ月小学校中学年」(明治図書)
- ※ 八卷寛治・平野修編著「エンカウンターで学級づくり12ヶ月小学校高学年」(明治図書)
- ※ 國分康孝・國分久子監修 ビデオ
 こころを育てるカウンセリング「構成的グループエンカウンター」
 小学校モデル授業編 (株テレマップ)
- ※ 國分康孝・國分久子監修 ビデオ
 こころを育てるカウンセリング「構成的グループエンカウンター」
 小学校実践例編 (株テレマップ)

6 提案プログラム

エクササイズの年間計画（1・2）年

（1）学期

宇部市立原小学校

月	学校行事・特徴など	対応すべき実態・目標	エクササイズ 1年	エクササイズ 2年
4月	<ul style="list-style-type: none"> 入学式、始業式 学級組織作り 委員会の組織作り 1年間の学級のめあてづくり 避難訓練 各種健康診断（5月末まで） 	<p>①入学したばかりで、学校生活への希望と不安が混存し、緊張している。 入学前の友達と遊ぶことが多い。</p> <p>②新しい学級となり、担任や友達との関係づくりにまだ不安があり落ち着かない。</p>	<p>○ジャンケンであそぼう〈学活〉</p> <p><input type="checkbox"/> あいこジャンケン</p> <p>足ジャンケン</p> <p><input type="checkbox"/> ジャンケンチャンピオン</p> <p>○<input type="checkbox"/> 握手でさようなら〈帰りの会〉</p>	<p>○先生と握手〈学活〉</p> <p>○<input type="checkbox"/> 握手でさようなら〈帰りの会〉</p> <p>○あいさつゲーム〈学活〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名刺あつめ ・アウチでよろしく <p>○ジャンケンでさようなら〈帰りの会〉</p> <p><input type="checkbox"/> あいこジャンケン</p> <p>若返りジャンケン</p> <p><input type="checkbox"/> ジャンケンチャンピオン</p> <p>◎ジャンケン列車〈学活〉</p> <p>○ふわふわ言葉とチクチク言葉〈学活〉</p> <p>○学校へ行こうよ〈学活〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうじゅうがり
5月	<ul style="list-style-type: none"> ゴールデンウィーク 1年生をむかえる会 家庭訪問 スポーツテスト 2. 4. 5年社会見学 1. 3. 6年校外学習 	<p><input type="checkbox"/> 先生と仲よくなる</p> <p><input type="checkbox"/> 新しい友達づくりをする</p> <p>①新しい友達と遊ぶことも増えて、学校生活に慣れてくる。</p> <p>②新しい友達がたくさんでき、学級としての特徴が出始める。</p>	<p>○<input type="checkbox"/> ぞうさんのさんぽ〈音楽〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンケン列車 <p>○<input type="checkbox"/> タッチでさんぽ〈音楽〉</p> <p>○鏡よかがみ（先生と）〈学活〉</p>	<p><input type="checkbox"/> あいこジャンケン</p> <p>若返りジャンケン</p> <p><input type="checkbox"/> ジャンケンチャンピオン</p> <p>◎ジャンケン列車〈学活〉</p> <p>○ふわふわ言葉とチクチク言葉〈学活〉</p> <p>○学校へ行こうよ〈学活〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうじゅうがり
6月	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 歯みがき指導 たてわり班活動 水泳指導開始 	<p><input type="checkbox"/> 学校の友達と仲よく遊ぶ</p> <p><input type="checkbox"/> 友達のいろいろなところを知る</p> <p><input type="checkbox"/> 協力する楽しさや達成感を味わう</p>	<p>◎ふわふわことばとちくちくことば〈学活〉</p> <p>○<input type="checkbox"/> ふわふわジャンケン〈学活〉</p>	<p>○<input type="checkbox"/> ありがとうカード〈学活〉</p>
7月	<ul style="list-style-type: none"> 1学期のまとめ 期末懇談会 夏休みの計画 終業式 夏季休業 いるか教室 	<p>◎学校生活のルールが定着してくる。</p> <p><input type="checkbox"/> 1学期の生活をふりかえってみる</p>	<p>○ウキッ〈学活〉</p> <p>○手つなぎ電信ゲーム〈学活〉</p> <p>○フルーツバスケット〈学活〉</p>	<p>○なんでもバスケット〈学活〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルーツバスケット

◎ ロングエクササイズ □ くりかえしエクササイズ 〈 〉 教科領域等
 ○ ショートエクササイズ ・ 他 の 選 択 エ ク サ サ イ ズ

エクササイズの年間計画（1・2）年

（2）学期

宇部市立原小学校

月	学校行事・特徴など	対応すべき実態・目標	エクササイズ 1年	エクササイズ 2年
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式 ・ 水泳指導終了 ・ 運動会 	<p>◎夏休み明けで、生活のリズムが整わず、学習に集中できない。</p> <p>①活動範囲が広がり、係や当番の活動では、自分の役目を果たそうと努力する。</p> <p>②活発になり、仲よしグループができ始める。</p>	<p>○ジャンケン手の甲たたき〈学活〉</p> <p>・ グー、チョキ、パージャンケン</p>	<p>○夏休みバスケット〈学活〉</p> <p>・ 夏休みの思い出</p> <p>○いいことさがし〈学活〉</p> <p>○カムオン〈学活〉</p>
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ たてわり班活動 ・ 原小まつり（愛校バザー） ・ 6年修学旅行 ・ 2・4・5年校外学習 ・ 就学時検診 ・ 読書週間 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のよさ、友達のよさを見つける ○ いろいろな友達と遊ぶ ○ グループ活動ができる </div>	<p>○二つの部屋〈学活〉</p>	<p>◎サッカージャンケン〈学活〉</p>
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・3年社会見学 ・ 宇部市音楽祭（5年生参加） ・ 持久走練習開始 ・ スタンプラリー集会（全校） 		<p>◎ともだちのよいところを ほめてあげよう〈学活〉</p>	<p>○みんなで「わ」くぐり〈学活〉</p>
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練 ・ 持久走大会 ・ 2学期のまとめ ・ 期末懇談会 ・ 冬季休業 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 2学期の生活をふりかえる</p> </div>	<p>○なんでもバスケット〈学活〉</p>	<p>◎自分への手紙〈学活〉</p>

エクササイズの年間計画（1・2）年

(3) 学期

宇部市立原小学校

月	学校行事・特徴など	対応すべき実態・目標	エクササイズ 1年	エクササイズ 2年
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式 ・ 給食週間 ・ 進学説明会 	<p>①学年のまとめの時期で、いろいろなことに興味をもち、活動的になってくる。</p> <p>②仲よしグループでの行動が活発になる 学級集団や学年集団の意識が強くなってくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○冬休みバスケット〈学活〉 ○カムオン（体育） 	<ul style="list-style-type: none"> ○冬休みバスケット〈学活〉 ・ 冬休みしんぶん ○サインでジャンケン〈学活〉 ・ グループジャンケン
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練 ・ 仮入学 ・ 3年生クラブ活動見学 ・ たてわり班活動 ・ 期末懇談会 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな友達と仲よくできる ○ 自分のことについて考え、達成感を持つことで自分に自信をもつ ○ 1年間のまとめをする ○ 進級の期待と自覚をもつ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎心の中のおにさがし〈学活〉 ○サッカージャンケン〈学活〉 	<ul style="list-style-type: none"> ◎心の中のオニたいじ〈学活〉
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年のまとめ ・ 6年生を送る会 ・ お別れお楽しみ会 ・ 卒業式 ・ 終了式 ・ 学年末休業 		<ul style="list-style-type: none"> ○同じシール集まれ〈学活〉 	<ul style="list-style-type: none"> ○パチパチカード

エクササイズの年間計画（3・4）年

（1）学期

宇部市立原小学校

月	学校行事・特徴など	対応すべき実態・目標	エクササイズ 3年	エクササイズ 4年
4月	<ul style="list-style-type: none"> 入学式、始業式 学級組織作り 委員会の組織作り 1年間の学級のめあてづくり 避難訓練 各種健康診断（5月末まで） 	<p>◎新しい教室、クラスの仲間となり、不安もあるが期待感もある。これまでの友人関係はあるが、クラスのまとまりはまだ十分はできてない。新しい環境に適応しにくい子は孤立感を味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ <input type="checkbox"/> ジャンケンチャンピオン〈帰りの会〉 ○ <input type="checkbox"/> 握手でさようなら〈始業式・終業式帰り〉 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誕生日チェーン〈学活〉 ○ 友達紹介〈学活〉
5月	<ul style="list-style-type: none"> ゴールデンウィーク 1年生をむかえる会 家庭訪問 スポーツテスト 2. 4. 5年社会見学 1. 3. 6年校外学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい友達、先生とのリレーションづくり ○ 役割意識をもつことで、新しい学級での自分の位置をつくる <p>◎気の合った友だちとグループで遊ぶようになる。一人ぼっちになる子、グループ間の争いも生じてくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肩もみエンカウンター〈帰りの会〉 ○ <input type="checkbox"/> ありがとうカード〈学活、席替え時〉 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <input type="checkbox"/> ご指名です〈学活〉 ○ <input type="checkbox"/> 聖徳太子ゲーム〈学活〉
6月	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 歯みがき指導 たてわり班活動 水泳指導開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級の形ができてくるようにする ○ 孤立する子をださないように、また、グループ間の融和を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名前あてクイズ〈学活〉 ◎ もっと知りたいな 友だちのこと〈学活・人権教育参観日〉 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 4つの窓〈学活〉 ○ <input type="checkbox"/> 目かくしジョギング〈学活〉
7月	<ul style="list-style-type: none"> 1学期のまとめ 期末懇談会 夏休みの計画 終業式 夏季休業 いるか教室 	<p>◎学校生活のルールが定着してくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期の生活をふりかえってみる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 何でもバスケット〈学活・お楽しみ会〉 	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんばり賞あげよっと〈学活〉

◎ ロングエクササイズ □ くりかえしエクササイズ 〈 〉 教科領域等
 ○ ショートエクササイズ ・ 他の選択エクササイズ

エクササイズの年間計画（3・4）年

（2）学期

宇部市立原小学校

月	学校行事・特徴など	対応すべき実態・目標	エクササイズ 3年	エクササイズ 4年
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式 ・ 水泳指導終了 ・ 運動会 	<p>◎夏休み明けのうえ、残暑が続き、学習に集中できない。落ち着かない。</p> <p>◎一人ひとりの子どもが、それぞれの役割の中で活躍し、達成感を味わい伸びる時期である。</p> <p>◎学級集団のまとまりが強まる。</p>	<p>○握手できようなら〈始業式・終業式帰り〉</p> <p>○トラストウォーク（総合学習）</p> <p>○ありがとうカード〈学活、席替え時〉</p>	<p>○無人島SOS〈学活〉</p> <p>○ほめあげ大会〈学活〉</p>
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ たてわり班活動 ・ 原小まつり（愛校バザー） ・ 6年修学旅行 ・ 2. 4. 5年校外学習 ・ 就学時検診 ・ 読書週間 	<p>○小集団だけでなく、学級集団にも目を向ける</p> <p>○一人ひとりの個性を認め、一人ひとりのよさを見つける</p> <p>○思いやりの心をもつ</p> <p>○力をあわせることのよさわかる</p> <p>○自分のよさが見つけられる</p>	<p>◎ほめあげ大会をしよう〈学活〉</p>	<p>○共同絵画〈学活〉</p> <p>○あなたの〇〇が好きです〈学活〉</p> <p>○仲間さがし〈学活〉</p>
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1. 3年社会見学 ・ 宇部市音楽祭（5年生参加） ・ 持久走練習開始 ・ 全校集会 		<p>○4つの窓〈学活〉</p>	<p>◎してあげたいこと、してもらったこと〈学活〉</p>
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練 ・ 持久走大会 ・ 2学期のまとめ ・ 期末懇談会 ・ 冬季休業 	<p>○2学期の生活をふりかえる</p>	<p>○手つなぎ電信ゲーム〈学活〉</p>	<p>○クリスマスツリー〈学活〉</p> <p>○がんばり賞あげよつと〈学活〉</p>

エクササイズの年間計画（3・4）年

(3) 学期

宇部市立原小学校

月	学校行事・特徴など	対応すべき実態・目標	エクササイズ 3年	エクササイズ 4年
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式 ・ 給食週間 ・ 進学説明会 	<p>◎学年のまとめの時期で、いくつかの仲良しグループは存在するが、学級としてのまとまりができてくる。</p> <p>◎男女の仲はよいが、お互いに異性を意識し始める。</p>	<p>○握手できようなら〈始業式・終業式帰り〉</p> <p>○この指とまれ〈学活〉</p> <p>○ありがとうカード〈学活、席替え時〉</p>	<p>○私はわたしよ〈学活〉</p>
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練 ・ 仮入学 ・ 3年生クラブ活動見学 ・ たてわり班活動 ・ 期末懇談会 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活習慣の再定着 ○ 学年のふりかえり ○ 学級全体の凝集性を高める ○ 学級集団の一員としての自分を自覚する ○ 友達の個性を認め、肯定できる ○ 思いやりの心が育っている ○ 自己を表現でき、自己を肯定できる ○ 中学年から高学年になる意識をもつ </div>	<p>○ トラストアップ〈体育〉 (背中合わせ他)</p> <p>○ 輪くぐりゲーム〈体育〉</p>	<p>◎Xさんからの手紙〈学活〉</p>
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年のまとめ ・ 6年生を送る会 ・ お別れお楽しみ会 ・ 卒業式 ・ 終了式 ・ 学年末休業 		<p>◎がんばり賞あげよっと〈学活〉</p>	<p>○がんばり賞あげよっと〈学活〉</p>

エクササイズの年間計画（5・6）年 （1）学期 宇部市立原小学校

月	学校行事・特徴など	対応すべき実態・目標	エクササイズ 5年	エクササイズ 6年
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学式、始業式 ・ 学級組織作り ・ 委員会の組織作り ・ 1年間の学級のめあてづくり ・ 避難訓練 ・ 各種健康診断（5月末まで） 	<p>◎進級したばかりでこなすことが多く、落ち着かない。</p> <p>◎最高学年、または高学年への期待と不安がある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい友達、先生とのリレーションづくりをする ○ 学級集団の凝集性を高める ○ 学級内に自分の居場所を確立する ○ リーダーシップの育成をする ○ 自己理解、他者理解の促進をする </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○誕生日チェーン<学活> ○キャッチ<学活> ○じゃんけんねこ<体育> ・じゃんけんおんぶ ○じゃんけん手の甲たたき<学活> ○ぺったん<音楽> ○じゃんけんおんぶ ○私は私が好きです<学活> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ ジャンケンチャンピオン <li style="text-align: right;"><帰りの会等> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 握手できようなら <li style="text-align: right;"><始業式・終業式帰り> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ さようならジャンケン <li style="text-align: right;"><毎日、帰る前> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 名前あてクイズ<学活> ○ ありがとうカード <li style="text-align: right;"><学活、席替え時>
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生をむかえる会 ・ ゴールデンウィーク ・ 家庭訪問 ・ スポーツテスト ・ 2. 4. 5年社会見学 ・ 1. 3. 6年校外学習 	<p>◎学級の特色が表れる。小集団ができ、その中で役割ができてくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ どの集団にも入れない児童を出さないようにする ○ 学習する姿勢、グループ学習、活動のマナーを育成する </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○まほうのイス<体育> ○朝起きてからのこと<学活> ◎Xからの手紙<学活> ○イメージマップ（ウェビング）<総合> 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ サイコロトーキング <li style="text-align: right;"><学活・人権教育参観日> ○ 聖徳太子ゲーム<学活> ◎ 長所を生かして自分らしく生きる <li style="text-align: right;"><道徳・学校訪問>
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練 ・ 歯みがき指導 ・ たてわり班活動 ・ 水泳指導開始 	<p>◎学級の特色が表れる。小集団ができ、その中で役割ができてくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ どの集団にも入れない児童を出さないようにする ○ 学習する姿勢、グループ学習、活動のマナーを育成する </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○まほうのイス<体育> ○朝起きてからのこと<学活> ◎Xからの手紙<学活> ○イメージマップ（ウェビング）<総合> 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ サイコロトーキング <li style="text-align: right;"><学活・人権教育参観日> ○ 聖徳太子ゲーム<学活> ◎ 長所を生かして自分らしく生きる <li style="text-align: right;"><道徳・学校訪問>
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ たてわり班活動 ・ 1学期のまとめ ・ 期末懇談会 ・ 夏休みの計画 ・ 終業式 ・ 夏季休業 ・ イルカ教室 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期の生活をふりかえってみる </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎Xからの手紙<学活> ○イメージマップ（ウェビング）<総合> 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 長所を生かして自分らしく生きる <li style="text-align: right;"><道徳・学校訪問>

◎ ロングエクササイズ □ くりかえしエクササイズ 〈 〉 教科領域等
○ ショートエクササイズ ・ 他を選択エクササイズ

エクササイズの年間計画（5・6）年

（2）学期

宇部市立原小学校

月	学校行事・特徴など	対応すべき実態・目標	エクササイズ 5年	エクササイズ 6年
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式 ・ 2学期のめあてづくり ・ 運動会 	<p>◎夏休み明けに、学級集団のルールが乱れることもある。</p> <p>◎なかよし集団から役割集団やめあて集団でも活動が増える。</p> <p>◎学年集団を意識し始める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボディパーカッション<音楽> ○ トラストアップ<体育> ○ ☆いくつ<学活> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 握手できようなら <始業式・終業式帰り> ○ ありがとうカード <学活・席替え時>
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ たてわり班活動 ・ 原小まつり（愛校バザー） ・ 6年修学旅行 ・ 1. 3年社会見学 ・ 2. 4. 5年校外学習 ・ 就学時健診 ・ 読書週間 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の生活習慣を再定着させる ○ 行事を通して、同じ児童ばかりが目立つことのないようにする ○ 友だちのよさ、自分のよさを見つける ○ 集団の中で自己主張ができるようにする ○ 自分や集団のめあてに対して、達成感を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 相手の立場に立って<道徳> フープアップ・ダウン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ トラストウォーク<学活> ○ グループ大なわとび<体育>
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽朝会 ・ 宇部市音楽祭（5年生参加） ・ 持久走練習開始 ・ 演劇教室 ・ 全校集会 ・ 避難訓練 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間知恵の輪<学活> 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ いじめってなあに？<道徳> あなたはだーれ？ わたしはだーれ？<学活>
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ たてわり班活動 ・ 持久走大会 ・ 2学期のまとめ ・ 期末懇談会 ・ 冬季休業 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2学期の生活をふりかえってみる 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 気になる自分<学活> ・ Xからの手紙<学活> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手つなぎ電信ゲーム<学活>

エクササイズの年間計画（5・6）年

(3) 学期

宇部市立原小学校

月	学校行事・特徴など	対応すべき実態・目標	エクササイズ 5年	エクササイズ 6年
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式 ・ 3学期のめあてづくり ・ 給食週間 ・ 進学説明会 	<p>◎役割交代期である。</p> <p>◎学級としてのまとまりが出てくる。</p> <p>◎中学校生活、または最高学年への不安が高まってくる。</p>	<p>○会話をひらくかぎ<学活></p>	<p>○ 握手できようなら <始業式・終業式帰り></p> <p>○ トラストアップ<体育></p> <p>○ 輪くぐりゲーム<体育></p> <p>○ ありがとうカード <学活・席替え時></p>
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練 ・ 仮入学 ・ 3年生クラブ活動見学 ・ 期末懇談会 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活習慣を再定着させる ○ 学級全体の凝集性を高める ○ 中学生、または最高学年になる自覚をもつ ○ 小学校生活のふりかえりをする ○ 新年度のめあてづくりをする ○ ポジティブな自己概念を形成する ○ 出会いと別れの意味を理解する </div>	<p>◎Xからの手紙<学活></p>	<p>○ Xからの手紙<学活></p> <p>◎ 自分のしたいことベスト10 <学活></p>
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年のまとめ ・ 6年生を送る会 ・ お別れお楽しみ会 ・ 卒業式 ・ 修了式 ・ 学年末休業 		<p>◎6年生になった自分へ<学活></p>	<p>◎ がんばり賞カード (自分・友達・クラス) <学活></p>